

令和元年 5 月 30 日

練馬区食育推進ネットワーク会議

第 7 期第 1 回資料

練馬区食育推進ネットワーク会議(1 期～6 期)の活動内容

1 第 1 期 (平成 19 年度、20 年度)

(1) 開催回数

10 回

(2) 活動内容

ア 食育推進の標語の選考

イ 食育実践ハンドブックによる普及啓発活動

「食育実践ハンドブックね・り・ま (初版)」の作成・配布 (平成 20 年 2 月)

「食育実践ハンドブックね・り・ま (改訂版)」の作成・配布 (平成 21 年 1 月)

ウ 食育推進講演会・食育推進シンポジウムへの協力

① 平成 19 年度

標語入賞者の表彰式、食育実践ハンドブック、講演 (殖田委員長) 等

② 平成 20 年度

特別講演 (檀太郎氏)、区民と食育関係団体 (JA 等) の取組紹介、シンポジウム等

エ JA 東京あおば農業祭へ出展

パネル展示による食育クイズ、野菜当てクイズを行った。

2 第 2 期 (平成 21 年度、22 年度)

(1) 開催回数

12 回 (うち臨時会議 2 回)

(2) 活動内容

ア 食育媒体による普及啓発活動

「食育実践カレンダーね・り・ま」の作成・配布 (平成 22 年 1 月)

「食育実践チェックシートね・り・ま」の作成・配布 (平成 23 年 12 月)

イ 食育推進講演会への協力

① 平成 21 年度

基調講演 (永山久夫氏)、イキイキ・わくわく練馬の食育実践事例紹介等

② 平成 22 年度

講演 (枝豆王子・児島啓介氏)、食育って楽しい! 練馬の食育実践事例の紹介

ウ JA 東京あおば農業祭へ出展

豆つかみゲーム、食育クイズ、食育おみくじ (健康づくりサポーター食コース修了生協力)

3 第 3 期 (平成 23 年度、24 年度)

(1) 開催回数

10回

(2) 活動内容

ア 食育実践ハンドブックによる普及啓発活動

「野菜とれとれ！ね・り・まの食卓」作成協力・配布（平成24年1月発行）

「ちょっと昔のねりまの食卓～これからのねりまの食卓～」作成協力（平成25年1月）

イ 食育推進講演会への協力

① 平成23年度

講演「地場野菜の底地から－野菜のパワーと魅力を知って豊かな食生活を－」

講師 加藤義松氏（JAからの紹介）

② 平成24年度

講演「作って、食べる。食べて、生きる。

－野菜づくりを通して子どもたちに伝えたいこと－

講師 渡戸秀行氏（JAからの紹介）

展示会 「ちょっと昔のねりまの食卓～これからのねりまの食卓～」

ウ JA東京あおば農業祭へ出展

豆つかみゲーム、食育クイズ、食育実践ハンドブックによる健康教育

エ 見学会

平成24年3月 東京ガス 業務用厨房ショールーム

4 第4期（平成25年度、26年度）

食育の普及啓発から実践へ向けて、区民委員、関係団体委員による部会制により検討を進めた。

(1) 開催回数

10回（うち部会のみ開催4回）

(2) 活動内容

ア 食育実践ハンドブックによる普及啓発活動

「野菜とれとれ！1日5とれとれ！」作成協力・配布（平成26年1月発行）

食育実践ハンドブック別冊「次の世代に伝えたい和食～食育推進講演会記録誌～」の作成協力（平成27年3月発行）

イ 食育推進講演会への協力

① 平成25年度

講演「次の世代に伝えたい和食

～子どもの頃にだしのうまみや伝統料理のおいしさを教える理由～」

講師 京都大学大学院教授 伏木亨氏

② 平成26年度

講演「次の世代に伝えたい和食～江戸から今に伝わる和食～」

講師 近茶流嗣家 柳原尚之氏

ウ JA東京あおば農業祭への出展

豆つかみゲーム、食育実践ハンドブックによる健康教育

(3) 部会活動の成果

ア ひとづくり部会

ねりまならではの食育（区の食生活の課題を理解し、農地が身近にあり野菜の育ちが見える地域特性を生かした食育）を実践する人が増えるように、地域で食育ボランティアによる様々な食育活動が行われている状態を目指した。

食の自立を目的とした食育の展開について、ライフステージごとにアプローチ1～4を検討した。さらにアプローチ1の食育活動として、食育ボランティアによる「児童館での食育事業」の試行を行った。

イ まちづくり部会

区民が健康に暮らせる食環境として、「健康に配慮したお店のある健康的なまち」の検討を行い、「健康的なまち・お店」についてのイメージの共有化を図った。

5 第5期（平成27年度、28年度）

(1) 開催回数

10回（うち部会のみで開催4回）

(2) 活動内容

ア 食育実践ハンドブックによる普及啓発活動

「ちゃんとごはん」の作成協力（健康づくり総合計画重点事業「ちゃんとごはんプロジェクト」のテキストとして作成）平成28年1月発行

イ 食育推進講演会への協力

① 平成27年度

講演「次の世代に伝えたい和食～発酵食品のある豊かな食生活～」

講師 東京大学名誉教授 小泉武夫氏

② 平成28年度

講演「次の世代に伝えたい和食～地域で広げる、伝える、和食文化～」

講師（第一部）和食文化国民会議 東京家政学院大学名誉教授 江原絢子氏

第二部では「和食を伝える区取組」を区職員が紹介した。

ウ JA東京あおば農業祭への出展

豆つかみゲーム、食育実践ハンドブックによる健康教育、野菜の摂取皿数アンケート実施

(3) 部会活動の成果

住み慣れた地域でいつまでも健康で暮らせるまちづくりを目的とした食環境整備事業の検討を行い、新規事業「ねりまの食育応援店」の事業概要をまとめた。また、平成27年度から開始した食育推進ボランティアによる地域での食事作りの体験事業「ちゃんとごはん」の活動報告を行った。

ア ねりまの食育応援店事業の登録内容

① 練馬ならではの食材を使っているお店（練馬産野菜のお店、練馬特産食材のお店）

② あなたの健康的な食生活を応援するお店（ヘルシーごはんのお店）

③ いつまでも地域に残したいお店（あなたのいちおしのお店）

イ 情報紙の検討

29年度からの本格実施に向けて、事業周知のため情報紙を準備号として作成した。

6 第6期（平成29年度、30年度）

(1) 開催回数

10回（うち部会のみで開催4回）

(2) 活動内容

ア 食育実践ハンドブックによる普及啓発活動

「野菜とれとれ！1日5とれとれ！」別冊・作成協力・配布（平成30年2月発行）
ねりまの食育応援店情報誌作成協力（平成30年12月発行）

イ 食育推進講演会への協力

① 平成29年度

講演「次の世代に伝えたい和食～家庭料理を初期化してみると～」

講師 料理研究家 土井善晴氏

講演会前後に「ねりまの食育応援店」の取組、「ちゃんとごはん」プロジェクトの取組紹介を、区職員・食育応援店店主・食育推進ボランティアで行った。

② 平成30年度

講演「家庭から始まる食育～子供の食の自立を目指して～」

講師（第一部） 子供が作る 弁当の日 提唱者 竹下和男氏

第二部では、学童に対する食育の取組「ちゃんとごはん」を食育推進ボランティアが、中学生に対する食育の取組「自分で作る朝ごはんコンクール」について区立中学校栄養士が紹介した。

ウ JA東京あおば農業祭への出展

豆つかみゲーム、食育実践ハンドブックによる健康教育、野菜の摂取皿数アンケートを実施し、若い世代に向けた食育を行った。

(3) 部会活動の成果

ア 若い世代部会（資料○参照）

食育の届きにくい世代（20～30代）に対しての取組について検討し、大学生やシェアハウス経営者に対し、若い世代に食育を効果的に行うための調査を行った。また、若い世代が集まる所での食育の取組として、盆マルシェ・健康フェスティバル・農業祭等で食育活動を行った。

イ ねりまの食育応援店部会（資料○参照）

第5期で検討し事業化した「ねりまの食育応援店」の普及啓発に向けた検討を行い、それぞれの店舗の食育の取組等をまとめた情報誌を発行した。現在の登録数は66店舗となっている。

ウ 第7期に向けた検討

令和元年11月に開催する世界都市農業サミット開催にあわせ、若い世代部会、ねりまの食育応援店部会共通の取組として、食育サミットの開催を予定している。